

【ねがいましては】

平成11年11月29日

第120号

KYOWA SCHOOL

「黙々と」

「先生、これ作っておいて下さい。」「先生、ここ教えてよ。」「先生、ここわからない。」こんな声が、このごろとても多く聽けるようになりました。私の10畳ほどの空間も、日本でここだけ、世界でここだけよ、というような授業を展開しているのかもしれません。

短期集中、即効果ありが持てはやされている昨今ですが、私の中にある「真」の教育の姿は、この「ねがいましては」が、12年もの長きにわたり続けられていることでもわかりますが、成績は第2、「思いやること」「やさしいこと」が、第1位に変化はありません。

中学生の彼女たちは、彼らは、自分で教材を選び、活用しています。もちろん、この教室の教材でもあり、学校の教材、そして自らが書店で見つけてきた教材あります。たまに他の塾の問題あります。・・・指定教材はありません。自由教材です。その中で、私なりにこれはいいと思うものがあれば、それを勧めたり・・・コンピューター教材もそのひとつです。彼女たちは、思い思いに使用します。時間の過ぎることの早いこと。

ある日、2人の男子中学3年生が、夜9時45分過ぎてからやってきました。とっくに終了している時間です。私は猫のケイちゃんが外へ行ってしまったので、帰りを待っていました。普通なら、とっくに帰ってしまっていた時間です。そこで面白い発言が聞けました。

「ここに来てる奴らってさあ、すごいんだよね。迫力があるっていうか。」「がんがん質問してくれるじやんか」「圧倒されるよ」「信じられないよ」的な言葉でした。

私はそれを聞くまで、その授業が極々普通でしたので、それを聞いたとき、そうなんだ・・・と、改めて今の雰囲気が、他の教室では見ることのできないムードだったんだ。と、気がつかされました。(実は、この2人、他の教室からの移籍組なのです)

私は、以前より、こんなムード、ずっとずっと続けたいな、と思ってました。

けっして命令はしない、自分歩きの勉強部屋です。失敗を恐れない、できるできないを気にしない。「今度、理科教えてください。」と、頼まれて動く、学校スタイルとは180度反対です。「こんな教室、1つぐらいあつたっていいよな。」との私に、「ないと困るよ。」との返事。嬉しいですよね。(その割によく休むけど・・・)

ある日の授業の後、ある中学生が、「先生、私、冬季講習、他の塾へ行くから・・・」「こここの、冬季講習にはこれません」と、目頭を熱くしながら一生懸命に言葉を並べました。

うれしかったです。こんなに優しいんだね、私が伝えたい「心」というものを、ちゃんと持っています。友達の誘いに断れなかつたのでしょう。彼女の優しさは、お母さんやお父さん、ご兄弟の方々の、そう、「家族」の影響でしょう。そこへ私も少し・・・入っているのかな。

「いいんだよ、外の空気を吸っておいでよ。」「じゃないと、こここの教室がどんなとこか見えないからね。」

私の中では、これだ、これで行こう。と、強い決心がみなぎっています。教室での、生き生きとした表情を見続けるために、「まじめ」という木に、大きな大きな根をつけて、大きな大きな葉を広げて、この10畳間を、自分歩きのできる子で、笑顔あふれる部屋に・・・。これからも、みなさんのご協力よろしくお願ひします。さて、今日もパソコン相手に問題づくりだ。

★12月の予定・・・7日(火) 珠算検定試験合格発表

第1週・・・全国統一模擬テスト

* 冬の予定・冬季講習などのお知らせは、別紙にてお知らせいたします。